

(別記)

## 令和4年度JAあさひかわ地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

JAあさひかわは合併農協であり、その耕地は水田農業推進ビジョンを従来作成していた地域で数えると、旭川市より5地域、鷹栖町より1地域の合計6地域で構成されています。

道内有数の米所である上川地区の例に漏れず、耕地の大半は比較的平坦であり、良質米の生産に適しています。生産調整が実施される中、加工用米等の作付に取り組み、水張面積の維持拡大に努めています。

畑作転作においては、それぞれの地域でコントラクター事業や受託作業組合が発達し、麦・大豆・そばといった土地利用型作物を戦略作物に据え、一定の品質及び数量を確保すべく作付を行ってきました。

野菜については、大規模畑作転作が不可能な地域でも、水稻との複合経営を行う柱として、地域の特性にそった多種多様な品目が作付されています。近年は、農産物価格の低迷や、生産者の高齢化・担い手の経営面積大規模化による労働力不足により、野菜の作付面積は年々減少しています。

飼料作物においては、大規模酪農地域を有することもあり、耕畜連携の考えに基づき、耕種農家の生産調整対策および酪農生産者の振興を目的として、一定の牧草地による収穫物を酪農家へ安定供給し、地域農業の底上げに努めています。

しかし、全体的に転作田において作付する品目は収量・品質ともに、より上を目指す事が可能であり、適期刈取や適切な施肥管理、新たに必要な取組を行い収益力の向上に努めます。

その他の作付においては、条件不利地や労働力不足による耕作放棄地候補が増大する中、地力増進作物や景観形成作物の作付により、農地を保全管理し、地域全体として水稻をはじめ農作物の生産に適した環境を維持しております。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

生産性の向上に資する作物として、既存生産者及び新規就農者に対し高収益作物を推進します。あわせて旭川青果物出荷組合連合会や鷹栖振興公社等、各関係機関との連携を強化し、付加価値額を高めます。

また、農協が運営する農産物直売所等に出荷し地産地消を推進し、消費者の需要に即した旭川・鷹栖町産野菜を振興します。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

JAあさひかわ地区は優良な米産地であり、水稻の水張面積を維持し、米の生産出荷をより良質な状態に改善しつつ維持していきたい、という基本方針であります。酪農生産者も有しているため、飼料作物の安定的な作付を行います。また、国営・道営といった基盤整備事業を活用しつつ、受託組織により省力化を進めた麦・大豆・蕎麦等の畑作においては、需要にあわせた水稻とのブロックローテーションを構築し、連作障害を防ぐとともに反収の向上に努めます。

## 4 作物ごとの取組方針等

### (1) 主食用米

主食用米の主産地として、水稻作付希望者全員に対し生産の目安に準じた数量の一律配分を実施し、需要に応じた作付を行います。

### (2) 備蓄米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、需要に即した生産を図ります。

### (3) 非主食用米

#### ア 飼料用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稻転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

#### イ 米粉用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稻転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

#### ウ 新市場開拓用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稻転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

#### エ WCS用稲

今後、取組を検討して参ります。

#### オ 加工用米

あさひかわ地域の水田面積維持のため、生産の目安の配分により生じた水稻転作を、各種非主食用米の需要に応じて作付生産を図ります。

### (4) 麦、大豆、飼料作物

米に続く産地の形成を実現するため、小麦・大豆（黒大豆含む）といった換金性の高い土地利用型作物による作付け推進を積極的に展開し、高品質・安定生産のできる生産基盤の強化を目標に取り進めます。

また、利用供給協定に基づき飼料作物を地域内の有畜農家へ安定供給することにより、地元資源を有効に活用し地域全体の農業力を高めます。

更に、耕畜連携を継続し耕種農家と畜産農家の連携を深め、相互扶助による地域活性化を行います。

### (5) そば、なたね

地域名がついたブランド蕎麦を根幹に、生産力・高品質化を踏まえつつ近隣の水稲圃場に考慮した生産調整作物として作付けを展開し、需要に即した生産を目標に取り進めます。

### (6) 地力増進作物

基盤整備対象圃場に対し効果的な知力増進作物の作付を行い、翌年度の水稲作付における化学肥料の減少を図ります。

### (7) 高収益作物

消費者に安心して選択してもらえる青果物の産地を目指し、人・環境に優しいクリーン農業に取り組んで参ります。

**5 作物ごとの作付予定面積等** ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

## 別紙

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2,390.364	0.000	2,240.000	0.000	2,200.000	0.000
備蓄米	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
飼料用米	149.878	0.000	295.000	0.000	300.000	0.000
米粉用米	14.396	0.000	14.500	0.000	14.500	0.000
新市場開拓用米	66.661	0.000	67.000	0.000	67.000	0.000
WCS用稲	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
加工用米	121.839	0.000	120.000	0.000	120.000	0.000
麦	157.969	0.000	160.000	0.000	165.000	0.000
大豆	315.862	0.000	306.000	0.000	320.000	0.000
飼料作物	575.405	0.000	550.000	0.000	550.000	0.000
・子実用とうもろこし	1.720	0.000	1.720	0.000	2.000	0.000
そば	482.144	0.000	490.000	0.000	500.000	0.000
なたね	0.000	0.000		0.000		0.000
地力増進作物	18.053	0.000	20.000	0.000	0.000	0.000
高収益作物						
・野菜	102.363	0.000	111.800	0.000	115.000	0.000
・花き・花木	4.350	0.000	5.000	0.000	5.000	0.000
・果樹	1.636	0.000	1.650	0.000	1.700	0.000
・その他の高収益作物	5.271	0.000	5.300	0.000	5.400	0.000
その他						
・自家野菜他	238.000	0.000	258.000	0.000	260.000	0.000
畑地化	0.000	0.000	0.000	0.000	20.000	0.000

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦・はだか麦	収益力向上取組助成	取組面積 (ha) 反収 (kg/10a)	(3年度) 158 (3年度) 412	(5年度) 165 (5年度) 350
2	大豆	収益力向上取組助成	取組面積 (ha) 反収 (kg/10a)	(3年度) 122 (3年度) 214	(5年度) 120 (5年度) 240
3	黒大豆	収益力向上取組助成	取組面積 (ha) 反収 (kg/10a)	(3年度) 194 (3年度) 251	(5年度) 200 (5年度) 260
4	飼料作物	収益力向上取組助成	取組面積 (ha) 反収 (kg/10a)	(3年度) 575.405 (3年度) 250	(5年度) 550 (5年度) 350
5	蕎麦	収益力向上取組助成	取組面積 (ha) 反収 (kg/10a)	(3年度) 482.144 (3年度) 77	(5年度) 500 (5年度) 80
6	小豆	地域振興作物加算	作付面積 (ha)	(3年度) 5.271	(5年度) 5.4
7	野菜・花卉	地域振興作物加算	作付面積 (ha)	(3年度) 105.192	(5年度) 118
8	原料トマト	地域振興作物加算	作付面積 (ha)	(3年度) 1.521	(5年度) 3.0
9	果樹	地域振興作物加算	作付面積 (ha)	(3年度) 1.636	(5年度) 1.7
10	地力増進作物	基盤整備対象圃場に対する地力増進作物	作付面積 (ha)	(3年度) 18.053	(4年度) 20
11	飼料作物	資源循環助成 (耕畜連携)	作付面積 (ha) 取組面積 (ha) 反収 (kg/10a)	(3年度) 575.405 (3年度) 59.715 (3年度) 350	(5年度) 550 (5年度) 65 (5年度) 400
12	飼料作物	水田放牧助成 (耕畜連携)	作付面積 (ha) 取組面積 (ha)	(3年度) 575.405 (3年度) 1.45	(5年度) 550 (5年度) 2.2
13	蕎麦	蕎麦作付助成 (追加配分)	作付面積 (ha)	(3年度) 482.144	(5年度) 500
14	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成 (追加配分)	作付面積 (ha)	(3年度) 66.612	(5年度) 67
15	米粉用米	複数年契約加算 (追加配分)	複数年契約面積 (ha) 複数年契約数量 (t)	(3年度) 14.396 (3年度) 94.617	(4年度) 14 (4年度) 95

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の概要

新様式(公表用)

都道府県名:

協議会名:

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	収益力向上取組助成	1	17,280	小麦・はだか麦	生臭黒穂病対策防除他
2	収益力向上取組助成	1	12,960	大豆	ダイズシストセンチュウ抵抗性品種導入他
3	収益力向上取組助成	1	19,440	黒大豆	株間除草機使用他
4	収益力向上取組助成	1	10,080	飼料作物	掃除刈実施他
5	収益力向上取組助成	1	19,440	蕎麦	微量要素肥料施肥他
6	地域振興作物加算	1	25,920	小豆	作付面積に応じて支援
7	地域振興作物加算	1	22,950	野菜・花卉	作付面積に応じて支援
8	地域振興作物加算	1	32,400	原料トマト	作付面積に応じて支援
9	地域振興作物加算	1	6,480	果樹	作付面積に応じて支援
10	基盤整備対象圃場に対する地力増進作物	1	5,040	地力増進作物	翌年度肥料減少
11	資源循環助成(耕畜連携)	3	8,640	飼料作物	堆肥施肥他
12	水田放牧助成(耕畜連携)	3	8,640	飼料作物	水田放牧他
13	蕎麦作付助成(追加配分)	1	20,000	蕎麦	作付面積に応じて支援
14	新市場開拓用米取組拡大助成(追加配分)	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援
15	複数年契約加算(追加配分)	1	6,000	米粉用米	複数年契約に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載して下さい。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。